

ポラス 東武東上線に本腰

新ブランドで年間100棟販売へ



沿線の初弾となった「川越クレストヴィラ新宿町」では、同市初の人工芝の公園を開発した

ポラスグループが東武東上沿線での開発を加速する。15年8月に住宅展示場「新座・朝霞ハウジングステージ」に同社の注文住宅ブランド「ボウハウス」のモデルハウスをオープンしたほか、15年11月には朝霞台駅前に営業所を新設した。16年3月には沿線専門のブランドを立ち上げ、4月に初弾のモデルルームをオープンした。

同社では、本社所在地 R京浜東北線やJR常磐線の沿線のJR武蔵野線や東武伊勢崎線を中心にJアフターフォローに重点

をおき、分譲・注文住宅とも営業範囲を営業所・事業所の1時間圏内に限

っていた。朝霞台の営業所を設け、沿線全般をフォローする。

同社は14年11月に川越市での26棟開発を皮切りに、志木市、朝霞市、ふじみ野市、新座市などで延べ約90棟を供給してきた。

県西エリアには同社が得意とする南フランス風のデザインを基調にした戸建て供給を望む声が多かったほか、自然素材を使った本物志向の強さを実感したことから、東武東上線沿線専門ブランド

「フレイベスト」を立ち上げた。フレイベストとは、フオレスト（森林）、フレイバー（味）、フオールムや間取りが異なり、統一感ある街並みをんだ造語。無垢の建材を床や壁のほか、コーナーなど部分的にあしらって

富士見市鶴瀬に11棟を開発している。

今後は年間1000棟の販売を目指し、小規模の用地から街並みができる規模の用地まで幅広く仕入れを強化している。